

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年8月30日時点)

➤ **ウクライナ軍が露西部クルスク州への越境攻撃を実施する一方、露軍は、同攻撃に対応しつつも、ウクライナ東部への攻勢及びウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者50万人以上 (英国防省24年5月31日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- 「ウ」空軍司令官は、**米国製の精密誘導爆弾GBU-39**を使用し、クルスク州の露無人機管制所及び電子戦部隊の拠点等に損害を与えたと発表 (8月22日)
- ゼレンスキー大統領は、**露がスーミ州及びチェルニヒウ州の占領を計画している**との情報を得ていたところ、**クルスクへの攻撃により阻止できた旨言**とするほか、**クルスクは「ウ」の勝利計画の一部**であると発言 (8月27日)
- 「ウ」総司令官は、**1,294km²を占領し100集落を掌握した**と発言。また、**ポクロウスク等からの露部隊の転用がクルスク攻撃の目的の1つ**であり、露は**約3万人の兵士をクルスク州に移動**させた一方、**ポクロウスク方面では最も準備の整った部隊を集中させて攻勢を強化**していると表明 (8月27日)
- 露国防省は、22日にドネツク州**メジョヴェ村**、27日に**オルリウカ村**、28日に**コミシウカ村を解放**したと発表

- 「ウ」メディアは、「ウ」保安庁及び特殊部隊が、露ヴォルゴグラード州**マリノフカ空軍基地**において、**滑空誘導爆弾及び燃料の倉庫を攻撃**と報道。同基地は、前線から450kmの場所に位置し、「ウ」近郊で唯一航空機用シェルターが建設されているほか、**偵察機Su-24MR及び戦闘爆撃機Su-34**が所在 (8月22日)
- 「ウ」空軍は、露が「ウ」全土に対して、**Shahed-136/131 × 109機**、空中発射型弾道ミサイル「**キンジャル**」、弾道ミサイル「**イスカンデルM**」/**KN-23**、巡航ミサイル「**カリブル**」など**ミサイル × 127発**から成る**大規模複合攻撃を実施**と発表。「ウ」当局は、少なくとも7人が死亡したほか、キーウ水力発電所等エネルギー施設が被害を受けたと発表。「ウ」空軍司令官は、侵略開始以降**最大規模の航空攻撃**であると表明 (8月26日、27日)。ゼレンスキー大統領は、26日の攻撃の際、**F-16により複数のミサイル及び無人機を撃墜**したと発言 (8月27日)

- 露・「ウ」間で**捕虜交換**が実施され、露・「ウ」捕虜各115人が解放。露国防省によれば、**露兵士はクルスク州で捕虜**となった者たちであると発表 (8月24日)
- ゼレンスキー大統領は、侵略開始以降、露が、**約1万発のミサイル及び3万3千発以上の滑空誘導爆弾を「ウ」に対し発射**と発言 (8月25日)
- ゼレンスキー大統領は、「ウ」は**新型兵器**の国産長距離ミサイル無人機「**パリヤヌイツヤ**」を運用開始した旨発表。「ウ」メディアによれば、**20か所の露軍事基地が射程圏内**のほか、地上発射かつターボジェットエンジンで飛行し、同種のミサイルよりも遥かに安価と報道 (8月25日)
- ゼレンスキー大統領は、**初の国産弾道ミサイルの実験が首尾よく実施**された旨言及 (8月27日)



- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が占領した地域